

## 4年ぶりに夏まつりを開催

協同組合国母工業団地工業会（小野健一理事長 組合員 25 社）は、7 月 12 日に国母公園グラウンドで新型コロナウイルス感染症により見合わせていた「夏まつり」を 4 年ぶりに開催した。

今年 5 月に新型コロナウイルス感染症法上の分類が 5 類に引き下げられたことと組合員からの要望もあり、感染防止対策を徹底したうえで、例年の開催内容と同規模で開催することができた。

当日は、夕方に雲が多く天気心配される中であったが、吉本興業所属の芸人「いけや賢二」の司会で開会し、小野理事長から夏まつりが関係者の協力のもと無事開催できたことに対して感謝のあいさつがあり、続いて来賓のあいさつや来賓の紹介が行われた後、イベントを開始した。

ステージイベントでは「カラオケのど自慢大



賑わいを見せる模擬店

## 協同組合国母工業団地工業会

会」や「ラッキーくじ抽選」のイベントが繰り広げられ、会場は大いに盛り上がった。

カラオケのど自慢大会では、組合員の従業員が自慢の歌声とパフォーマンスを披露し、ゲストで招かれた「やまなし大使」で県内でも活躍しているシンガーソングライター「神部冬馬」が歌を披露し、観客から大きな拍手を浴びていた。

会場には、組合員の従業員とその家族や近隣住民を含め大勢の参加者があり、各組合員が工夫を凝らした飲食等の模擬店が多数出店し、参加者は祭りを楽しんでいた。

この夏まつりは、組合員の福利厚生事業の一環として開催し、組合員の従業員や家族をはじめ地元住民の親睦交流の場として組合設立当時から開催されているもので、今回で 45 回を数え、組合としてのイベントとしてだけでなく、甲府市、中央市、昭和町に広がる国母工業団地の夏の風物詩ともなっている。



カラオケのど自慢大会の参加者

